



岡山学習センターでの面接授業

放送大学教授 自然と環境コース

隈部 正博



6月8、9日に岡山学習センターにて「数学の言葉」というタイトルで面接授業を行いました。

岡山はいいところです。関西方面に行くときには、途中下車して、あるいはもう少し足を伸ばして、ふらりと寄りたいたいと思ってしまいます。後樂園や倉敷などは、心落ち着く、時間を気にせず過ごしたいところです。あるいは吉備路など自然豊かなところもいいですね。

自然といえば、桃やマスカットなど果物も美味しいですし、岡山で降りれば四国は目の前、瀬戸内海の鳥々を見てからうどんも、と思ってしまいます。

話を戻しますが、「数学の言葉」の授業についてお話ししたいと思います。

高校までは日常語を使って数学を学びますが、大学では「数学の言葉」を使って数学を考えます。しかしこの数学の言葉を、正面から学ぶことはあまりありません。つまり学生さんは数学の言葉の使い方に慣れていないのです。慣れてもない言葉で数学を学べば、数学が異質なものの理解しにくいものに思ってしまうのも当然です。

この「数学の言葉」は、「集合と論理」という単元で高等学校でもある程度学びます。しかし大学受験にあまり関係ないという理由で簡単に済まされてしまいます。

一方大学では、高等学校で学んでいるからという理由で、また言葉の問題で常識的なことだからという理

由で、正面から学ぶことはほとんどありません。このギャップのために、大学での数学が敬遠されるのだと思います。

しかし「言葉の問題で常識的なこと」なのでしょう。そうとは思えません。

数学は正確さ（厳密性）を大事にしますので、そのためには「数学の言葉」を使って論理的に考える必要があります。

しかし「数学の言葉」といっても、別世界のものではありません。我々が日常話す言葉にも、論理性があります。普段それを意識することはあまりないかもしれませんが、状況によっては意識する必要があるのです（そうしないと思わぬ誤解や勘違いをしてしまいます）。

日常話す言葉の論理性について考え、これが数学の言葉と密接に関連していることを理解し、（数学の）言葉の論理性それ自身を考察の対象とする、これらがこの面接授業の内容です。数学は人間の思考に深く依存したものですから、（人の話す）言葉と深い関係があるのも当然と言えば当然です。

面接授業では、皆さん積極的に議論に参加してくれました。それにより議論が深められ、また授業が思わぬ方向に進むこともありましたが、新たなアイデアも出てきて有意義な時間でした。

授業とは、学生と一体になって形作られるものですね。

contents

【巻頭言】岡山学習センターでの面接授業	1
2019年度第1学期卒業証書・学位記伝達式	2
卒業生からのメッセージ	2・3
2019年度第2学期入学者の集い	3
大学からのお知らせ	3
放送授業・オンライン授業について	4
客員教授紹介	5

図書館連携講座のご案内	5
特別セミナー特集	6
夜間中学のご紹介	7
美術館見学講座	7
同窓会主催講演会	7
スケジュール	8
事務室からのお知らせ	8

2019年度第1学期卒業証書・学位記伝達式

ご卒業おめでとうございます



2019年度第1学期卒業証書・学位記伝達式
 日時：2019年9月29日（日） 11：00～
 会場：岡山大学文化科学系総合研究棟2階
 共同研究室

2019年度第1学期 卒業生

教養学部

赤澤博正	池田綱政	井藤恵	井上俊之	江國亨美
大西光代	大野敏江	岡野博光	岡部知子	菊樂元雄
田中孝子	土倉知子	中山善吾	新見清美	日笠眞里子
藤本恵子	真鍋光代	宮田浩之	村木忠広	柚木聡子

教養学部20名（敬称略・50音順・了承を得られた方のみ氏名掲載）

卒業生からのメッセージ

教養学部 生活と福祉コース卒業
 卒業生代表

池田綱政

『明日への希望とともに』

本日は私達、2019年度第1学期教養学部卒業生の為に、このような心のこもった式典を挙げていただき、誠に有り難うございます。世間では何かと「令和最初の」出来事が取り沙汰されますが、私達も放送大学における「令和最初の卒業生」となれ、思い出深く心に残ることと光栄に存じます。

また、只今は松本所長の式辞、同窓会会長の御祝辞を頂き、感激もまたひとしおであります。

私たちは、学士号の修得やキャリアアップのために、あるいは資格の取得や、生涯学習の一環としての研鑽など、多様な目的の下に、「いつでも、どこでも学べる」放送大学に入学して、学びの努力を重ねた結果、本日栄えある卒業証書・学位記伝達式を迎えることができました。

この日を迎えた学生の中には、職場にあって重要な仕事に携わっている方、家庭の主婦として、また幼い子供の育児で多忙な日々を送っている方、高齢で健康に気遣いながらも勉学を続けている方もおられます。

しかし、私どもがこうした厳しい学びの環境を克服して修了・卒業することができたのは、それぞれの心に根ざす、学びの志が如何に強いものであるかを示すものであります。

所長並びに客員教員の諸先生方には、普段の学習での疑問や質問に対し丁寧に指導していただき、ある時は良き相談相手にもなっていました。

また、職員の方々の行き届いたバックアップや指導助言、相身互いの間柄での学生の皆様方との交流、そして身近な存在である職場の方々や、家族の理解や協力があつたからこそ、実現した卒業・修了であります。こうした広く深いご縁に、心からの謝意を申し上げます。

大きな視点から見れば、卒業・修了は一通過点に過ぎず、本日、私どもは新しいスタートラインに立ったのであります。

これまで放送大学岡山学習センターで学んだことに大いなる誇りを持ち、得られた“知識”を単に“物知り”で終わらせず、我々の周りで起こる様々な出来事に、自分自身を対応させ、“何を考え、何をなすべきか”

を考えると共に、社会や多くの人々のために役立てる事ができるよう、更に学んでいきたいと心新たにしているところでもあります。

終わりにあたって、放送大学岡山学習センターのご

発展と諸先生方や職員の方々、在学生の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念して、まだまだ意を尽くせませんが、謝辞とさせていただきます。

2019年度第2学期入学者の集い

入学者（大学院13人、教養学部178人）
[2019年10月4日現在]のうち23人が出席
の中、開催されました。

2019年度第2学期入学者の集い

日時：2019年9月29日(日) 13:30~

会場：岡山大学文化科学系総合研究棟 2階 共同研究室



卒業生からのメッセージ

教養学部 生活と福祉コース卒業
卒業生代表 柚木 聡子

「2度の放送大学卒業で得た実り、収穫」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、今回放送大学で2回目の卒業となりました。

1回目の入学は、20年以上も前。当時の岡山学習センターは赤レンガの建物でした。1度大学は卒業していましたが、高校同様全く勉強をせず、出席もそこそこ。真面目な友人のノートにより、要領よく卒業しました。卒業して数十年、そのことが嫌でたまらなくなった頃放送大学を知りました。

高校、大学を卒業していないつもりで、選科・科目履修生で必要単位を取得した後、全科履修生1年に入學、4年で卒業しました。卒業に至るまでは、それなりに大変でしたが、自分で学費を払い、ひたむきに勉強し、卒業となった時は本当に嬉しかったです。「自分で自分を褒めたい」そう思いました。そして、この卒業により、自分自身を信じることができる自分になったように思います。

2回目は、2年前の再入学。その1年前に、認定心理士取得に足りない単位を取得する目的で選科履修生として学びました。久しぶりの勉強でしたが、面接授業などとても楽しく、認定心理士申請が無事通り目的達成した後、自己研鑽のために再入学しました。

再入学後卒業までの2年間で、一番の収穫は、古閑

先生の面接授業との出会いです。「情動」や「呼吸」「気」について学び、体を動かし、声を出す中で、心が広く深い空間の中を自由に動いているような不思議な感覚を得、快感を抱いたのです。どこか懐かしく、魂が喜んでいる感覚で、自分にはそれがとても新鮮な体験でした。もっと学びたいと思っていたところに、演劇同好会入会の呼びかけがありました。全く経験なし、仕事や家庭との両立に不安もありましたが、縁を感じ飛び込みました。そして半年後の文化祭では「マクベス」に参加することができたのです。

それまで学習センターに行くのは試験、面接授業時のみでした。しかし、演劇同好会に入り、古閑先生からの指導もいただきながらメンバーと学習センターで練習を重ね、上演できたことに達成感を抱き、今後も続けていきたいと思ったことが、今学期再入学を決めた一番の理由です。今年は文化祭に向けて「リア王」を練習しています。

皆さん一人ひとり、それぞれの想いや目的を持って入学されたことと思います。放送大学は、皆さんの関わり次第で、期待以上の収穫が得られるところだと思います。縁あって入学された皆さんの想いや願いが実りますこと、そして更なる学びや人との出会い、縁を楽しまれることをお祈りいたします。

大学からのお知らせ

学生証

「学生証」は、単位認定試験受験、図書・視聴学習室の利用、面接授業の追加登録の際などに必要です。学習センター窓口でお渡しいたします。

システム WAKABA に顔写真の登録手続きを行っていない方は、「写真票」（学生生活の葉：巻末様式12）に所要事項を記入のうえ、早めに本部学生課に提出してください。

2019年度第2学期の
新規入学・継続入学の方

入学許可書を提示してください

有効期限切れの方

有効期限切れの学生証と引き換えます

*詳細は【学生生活の葉】学部P. 18~20 大学院P. 24~28

放送授業・オンライン授業について

教務からのお知らせ

2019年度第2学期10月から1月までの学習スケジュールをお知らせします。

10月から1月までの学習スケジュールをお知らせします。
チェック欄を設けていますので、確認作業にご活用ください。



10
月

放送授業開始

【放送授業開始日】：10月1日（火）から始まっています。
テレビ、ラジオで全15回の放送授業が始まります。

<オンライン授業を履修される方へ>
全ての学習をオンライン上で行います。

*学期が始まったら、必ず、授業のページにアクセスし、課題、提出期間を確認して学習をはじめてください。

『学生生活の葉』
(学 部：P.29～)
(大学院：P.41～)

11
月

面接授業の追加登録

窓口での申請 10月25日（金）受付初日午前10時までに来所の方を対象に抽選（希望者多数の場合）、それ以降先着順。追加登録申請書に必要事項を記入し、学生証、所定の授業料（1科目：5,500円、つり銭のないようにお願いします。）をお持ちの上、学習センター事務室までお越しください。

郵送での申請 次の①～④を同封して、現金書留で岡山学習センターへ郵送してください。

- ① 学生証のコピー
- ② 追加登録申請書
- ③ 所定の授業料（1科目：5,500円×希望科目数）
- ④ 返信用封筒（長形3号（120×235ミリ））（宛先を明記、84円切手を貼付したもの）

*希望者多数の科目は、直接来所の方を優先します。

通信指導の提出

学期の途中に1回、一定の範囲で通信指導問題が出題されます。
単位認定試験の受験資格を得るために、通信指導の提出が必要です。

【通信指導送付時期】：8月下旬～11月上旬

（印刷教材と一緒に届いています。一部の科目については別に発送する場合があります。）

*11月5日までに届かない場合は、大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

【通信指導提出期間】

郵送による提出の場合：11月15日（金）～11月29日（金）大学本部必着
「Web通信指導」による提出の場合

：11月8日（金）10:00～11月29日（金）17:00



12
月

通信指導の結果返送と試験通知（受験票）

【添削結果返送時期】：12月末～1月上旬

【試験通知（受験票）送付時期】：試験日の約1週間前までに送付。

*1月14日（火）までに届かない場合は、大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

*添削結果と試験通知（受験票）の到着が前後することがあります。

『学生生活の葉』
(学 部：P.70～)
(大学院：P.65～)

1
月

客員教授紹介

学生のみなさん、快適な学生生活を送っていらっしゃいますか？学習が思うように進まない、孤独な学習に不安を感じている、そんな悩みをお持ちの方は、ぜひ学習相談室に足を運んでみてください。岡山学習センターでは、経験豊富な10人の客員教員の先生方が、特別セミナー・ミニゼミ・学習相談を実施しております。

- * 学習相談は事前予約が必要です。
- * 学習相談の日程は前月の末頃に決定します。

教務からのお知らせ



松本 俊郎 先生
(所長)(岡山大学名誉教授)

専門 東洋経済史・植民地経済史



永田 博 先生
(元川崎医療福祉大学教授)

専門 言語心理学



磯部 作 先生
(元日本福祉大学教授)

専門 人文地理学



粟屋 剛 先生
(岡山商科大学教授)(岡山大学名誉教授)

専門 生命倫理学



三浦 健志 先生
(岡山大学名誉教授)

専門 環境気象学



坂口 英 先生
(岡山大学名誉教授)

専門 動物栄養生理学



久野 修義 先生
(岡山大学名誉教授)

専門 日本史



堀内 孝 先生
(岡山大学教授)

専門 社会心理学・認知心理学



岡田 和也 先生
(岡山大学准教授)

専門 英米文学



服部 美佳 先生
(岡山大学非常勤講師)

専門 英語学

図書館連携講座のご案内

広報からのお知らせ

日時：11月2日(土) 14:00~15:30
(入場無料・申し込み必要 定員50名)
場所：ライフパーク倉敷 視聴覚ホール
講師：岡山学習センター客員教授 永田 博先生
演題：「ヘレン・ケラーに起こった井戸端の啓示ーこのときヘレンは何に気づいたのか?ー」
申し込み先：放送大学岡山学習センター
定員に達し次第終了させていただきます。
(TEL: 086-254-9240)

日時：12月1日(日) 13:30~15:00
(入場無料・申し込み不要)

場所：津江市立図書館 視聴覚室
講師：岡山学習センター客員教授 三浦 健志先生
演題：「岡山県北の気象環境と気象災害~平成30年7月豪雨時の岡山県下の降雨状況について~」



新見市学術交流センター附属図書館
連携講座の様子

特別セミナー特集！

広報からのお知らせ

2008年4月より客員教員の先生方が専門分野についてわかりやすく教授して下さる特別セミナーが始まりました。放送大学の学生に限らず、一般の方も参加でき、放送大学岡山学習センターを知っていただく機会になっています。講義をご担当の服部先生と各セミナーに参加している学生の方に参加しての感想などお話しいただきました。

『生きた英語への扉』によるこそ！



上記のタイトルでスタートしたのが2010年のRoman Holiday。2012年からSound of Music, 2013 Back to the Future, 2014 Wizard of Oz, 2015 Mary Poppins, 2016 Saving Mr. Banks, そして今年 My Fair Lady。

読む、書く、聞く、話すの4技能のうち、読めているように読めていない日本の学習者に少しでも読むチャンスを与えたい。しかも日本の英語教育では学習しない日常の自然な会話に多く接してほしい。その一心で2013年から4本の映画は、すべての台詞起こしをしました。欠かさずセミナーに出席された方々は4本の台本をくまなく一緒に音読し、映画の中の歌をすべて歌ってられました。積み重ねは本当に偉大です。

映画を見て聞き取り、セミナーの時間に目、耳、口

客員准教授 服部 美佳

を総動員することで俳優から生きた英語を楽しんで学んでいただきたいと思います。

学生さんたちは大変熱心。こちらは個々の様子を拝見しながら、よりよいセミナーを模索しています。2015年には日記の執筆を組み入れました。次のセミナーまでに5、6日分を書くと、10回受講すれば1年に60日分は書くことができますし、3日坊主を返上できます。添削を行うことで皆さんとのコミュニケーションも深まっており、そのことが私の喜びにもなっています。今年からは文法のプリント演習も始めました。基礎の基礎からまた積み重ねて参りましょう！



「特別セミナー」と私

平成20年に開講の「特別セミナー」。その5年前に始まった「レポートの書き方」時代から、ずっと私はお世話になっている。

岡山学習センターで、開講されると知って心待ちにしていた私。なぜなら、このセミナーは、卒業単位など余りにしないで気軽に参加できると、安易に構えていたからである。

自分の興味と関心の赴くまま趣味的に、あれこれ参加しているうちに、深く気づいたことがある。「あ！この授業はどれも本当に深い」ということだ。そして前述の軽い気持ちに対し、申し訳なさでいっぱいになった。

教養学部 全科履修生 持川 直子

どの先生も、心のこもった授業展開をして下さり、その熱い情熱が伝わってきて、私は毎回、「目から鱗」の刺激ばかりを受ける。そのことが、余程の用事と重ならない限り、必ず受講する原動力となっている。

自分の興味と関心のある授業選びだからこそ味わえる醍醐味、そして毎回初めて知ることへの喜び、またすでに知っていたことへの再確認のうえ、更により深く教えられるその感動・喜びが、自分の自信に繋がってゆく。

この「特別セミナー」の受講は、私にとって、自分の心を律し、自分の行動に責任をとる糧であり、感謝と楽しみの一つでもある。

ミニゼミ・特別セミナーに参加して

放送大学で心理学を学び始めて1年が経ちました。それは自分の抱いていたイメージをはるかに超えた興味深い世界です。放送授業で学ぶ心理学の専門用語や概念はとても新鮮で興味をそそられますが、深く理解するのになかなか進まずにいます。そんな折、永田先生と堀内先生のミニゼミを受講し始めました。ミニゼミでは岡山学習センターの先生方による生の講義で、より専門的な内容を具体的に学べます。放送授業の理解の助けとなる上、さらに新しい学びに出会い、先生に直接質問できるのも魅力です。

一方、学外の方も参加できる特別セミナーでは服部

教養学部 全科履修生 徳宿 桂子

先生の講義で洋画を楽しみながら英語を学んでいます。実践的なご指導のおかげで「英語の勉強」がぐっと身近に感じられるようになりました。

どちらも、同じ放送大学で学ぶ学生の皆さんの熱心な学習意欲に触れることができ、刺激、励みになります。言葉を交わすようになった方が増えてきたのもうれしいことです。

まだまだ学びの入り口に立ったばかりの私ですが、これからもミニゼミ・特別セミナーに参加しながら、知る喜びを積み重ねていきたいと思っています。

夜間中学のご紹介

「夜間中学のこと」

夜間中学なるものをご存じだろうか。三十年程前に映画で紹介された事がある。当時はバブル景気に浮かれ、学園ものと言えば青春真っ盛りを扱ったものが大半であった。ただし、夜間中学の存在に世間が注目する事はなかった。

日本国憲法は、「すべての国民」に対し「ひとしく教育を受ける権利」、「普通教育を受けさせる義務」を謳っている。そして、「義務教育は、これを無償」と定めているのである。(第二十六条『①教育を受ける権利、②教育の義務』) 憲法改正論議がかまびすしい昨今であるが当該条項については話題にもなっていないようだ。

ところが、この法治国家たるわが国において憲法の庇護を受けられなかった人々が存在するのである。しかも大勢……。

終戦後、食べていくために農家へ住み込みで手払い

に出され、帰って来た時には学齢期を過ぎていた女性。病気がちで学校をよく休み、たまに登校すればいじめられまともに授業は受けぬまま中学を卒業したことになる青年。それぞれが「ひとしく受けられるはず」の教育から疎外され悔しい人生を送っている。そのような人々に少しでも手助けができないものだろうか、と一念発起し、ある中学の教師の下に設立されたのが岡山自主夜間中学校である。

「自主」であるから行政の指導、支援はない。公金の助成もない。あるのは何とかひとなみに手紙を書きたい、分数少数の計算ができるようになりたい、という生徒達の向上心、少しでも学習の手助けが出来ればと望むボランティア教師の熱意だけである。教育の目的は生きて行くためのエネルギーを醸成すること。この学校にはその原点がある。

ボランティアスタッフ募集中。

教養学部 全科履修生 木内 英豪

美術館見学講座

学生サービスからのお知らせ

「ミイラと神々 エジプトの来世、メソポタミアの現世」を鑑賞して」

教養学部 全科履修生 原田 祥子

8月18日オリエント美術館へ特別展「ミイラと神々」を見に行きました。企画担当をされた学芸員さんが解説をしてくださり、どれほど、この企画展に力を注いだのか、ひしひしと伝わってくるような熱のこもったものでした。

死とは？ 死後の世界とは？

「見えない世界を見る」というテーマ通り、人々がどのように死を捉えていたか、死後の世界をイメージしていたか？を偶像やミイラ等々によって可視化されていました。前13Cや12Cの物とは思えない見事なものでした。

日本からはるか遠くのメソポタミアで、はるか昔に作られた品々にまつわる話には、現代の日本にも通じるものがあり、とても親しみを感じました。

例えば、前8C頃の安産のお守りや家のお守り、祖先祭などです。日本でも神社に安産のお守り札を貰いに行ったり、「家内安全」のお札を貰ってきいたりします。家の入口に埋めるか、神棚に置くかの違いはありますが、考え方は同じようなものです。祖先祭(前16C)は日本のお盆みたいなもので祖先が帰ってくる日の行事のようです。人間の考えることは、はるか昔も遠隔の地もあまり変わらないのだと思うと可笑しくもありました。又、「木で作った枕」も祖母(明治生まれ)

が使っていた高枕とよく似ていましたし、他にも今でも使えるような物がいろいろと展示されていました。

「心臓スカラベ」は私も欲しいな、と思いました。これは、ちょっと長形の石ころのようなものですが、死後、神々の質問に対して不利な答えをしないように守ってくれるそうで、ミイラの心臓の上にも置いてあるそうです。私は彼岸へ行くことはあまり怖いとは思いません。既に彼岸にいる両親や親友、愛犬に会えるというふうに思うと楽しみでもあります。ただ、彼らは多分いわゆる天国に居ると思われれます。ですから私もできれば皆の所に行きたいので、神々の質問に不利な答えはしないようにしなければなりません。もっとも日本では神々ではなく、閻魔様との面接でしょうか。

「有翼鷲頭精霊」の大きくて立派なレプリカは岡山の有志の人達の協力も得て購入したものだそうで、一見の価値ありです。

オリエント専門の美術館は日本では三カ所(東京2岡山1)だけだそうで、公立はアジア地域でも岡山市だけだそうです。学芸員さんの誇りと情熱に圧倒されながら有意義な時間を過ごすことが出来ました。



同窓会主催講演会

日時：11月3日(日) 14時～16時(30分の質疑応答を含む)

場所：岡山学習センター 6階 第2講義室

講師：岡山学習センター客員教授 坂口 英先生

演題：食と健康(草食動物に学ぼう)

スケジュール

10 OCT.	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

11 NOV.	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

12 DEC.	月	火	水	木	金	土	日
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

※カレンダーの 部分は閉所日です。

10月

- 5日(出) 大学院第1次選考筆記試験【修士・博士】
- 13日(日) 赤レンガフォーラム
- 19日(出) 面接授業空席発表
- 19日(出) 県立図書館連携講座
- 23日(水) 岡山大学附属図書館利用ガイダンス
- 25日(金) 面接授業追加登録開始
- 25日(金) 教員免許更新講習生受付開始
(~11/22)

11月

- 2日(出) 公開講演会(ライフパーク倉敷)
- 3日(日) 放送大学岡山学習センター大学祭
- 8日(金) 第2学期通信指導提出開始(WE B)
- 10日(日) 臨時閉所
- 15日(金) 第2学期通信指導提出開始(郵送)
- 16日(土) 大学院第2次選考面接試験【修士】
(~11/17)
- 22日(金) 教員免許更新講習生募集締切
- 23日(土) 学生研修旅行
- 26日(火) 第1学期学生募集受付開始(第1回)
(~2/29)
- 29日(金) 第2学期通信指導提出締切
(WE B/郵送*本部必着)
- 30日(土) 大学説明会

12月

- 1日(日) 津山市立図書館連携講座
- 8日(日) 瀬戸内市民図書館連携講座
- 14日(土) 学士(看護学)取得説明会

●開所日と利用時間

◇開所日

区分	曜日	センター事務室および視聴学習室・図書室
通常期間	火~金	10:00~18:30
	土・日	9:30~18:00
単位認定試験期間中		9:00~19:00

【注意】開所日および利用時間は各学習センターによって異なりますので、所属以外の学習センターをご利用の際はご注意ください。

◇閉所日

- ・月曜日
- ・国民の祝日に関する法律に定める祝日および休日
- ・年末年始(12月29日~1月3日)
- ・その他学長またはセンター所長が特に必要と認めた日

なお、臨時閉所等により開所日を変更する場合があります。

※警報の発令等による臨時閉所について

岡山市に特別警報または暴風警報が発令された場合、岡山学習センターは次の基準により閉所します。

1. 開所中に特別警報または暴風警報が発令された場合は、直ちに閉所します。
2. 特別警報または暴風警報が午前7時に解除された場合は、通常通り開所します。
3. 特別警報または暴風警報が午前7時以後、正午までに解除された場合は、解除後2時間経過後、開所します。
4. 特別警報または暴風警報が正午を過ぎても解除されない場合は、終日閉所します。

放送大学岡山学習センター 〒700-0082 岡山市北区津島中3-1-1 (岡山大学津島キャンパス内)
TEL: 086-254-9240 FAX: 086-254-9286 e-mail: okayama-sc@uj.ac.jp

HP: [岡山学習センター](#) またはQRコード

